

子どもの作業療法



Q：こどもへの作業療法って？

- 生まれつきの疾患や、中途疾患によってうまくできないことがあります。
- 歩くのが難しい、着替えられない、よく転ぶ・・・
- お友達とうまく遊べない、字を書くことが苦手・・・

子どもや、お父さん、お母さんが困っていること、もっと上手になりたい（なってほしい）事の解決策を、作業療法士と一緒に考えます。



Q：対象となる年齢は？

- 産まれてすぐの赤ちゃんから大人まで。大人になると、関わる機関が変わることもあります。

例) 子ども病院→成人を対象の地域の病院

Q：作業療法士だけしかこどもに関わらない？

- 子どもに関わる職種は作業療法士だけではありません。理学療法士、言語聴覚士、心理士など色々な職種が関わります。
- 多職種で連携し、医療機関だけでなく、地域の機関や学校等も含め、チームで関わるのが大事です！



Q：具体的にどんなことをするの？

- ニーズを聞き取ります。
- 評価を行い、困難な原因、強みを明らかにしします。
- 環境（物理的・人的）や作業（行うこと・やり方）を工夫します。
- 診療所だけでセラピーを行うのではなく、家庭や学校でできることを提案します。
- 苦手なことばかりでなく、子どもの得意な所を伸ばす関わりもします。
- 幼稚園、保育園、小学校、中学校等に訪問し、学校の先生たちと相談して、子どもの生活を応援することも役割の一つです。

ぼく、一人で歩いたり、手を自由に動かすことが苦手なんだ。普段は車椅子を使ってるよ。計算はとっても得意だよ。ひらがなもカタカナも読めるんだ。僕は、サッカーや野球も上手になりたいし、お料理もやってみたいんだ！



椅子を工夫したら、安定して座れそう！長くて太い棒なら、両手でころがして伸ばすこともできるね！

作業療法の色々な場面

□個別や集団で、個々のニーズや、目標に合わせて取り組みます。



電動車椅子の練習！
普段よく行く
スーパーに買い物に
来たよ！

人とすれ違う時
も、うまく止ま
れていたね。

大好きなアイス選び！
よく見て選んでる！



倒されない
ように、
よく考えて
頑丈に作っ
たよ～

よし！思いっきり
投げて倒すぞ！！



全力疾走！
カー杯ひっぱ
らなきゃ！！

おととと！
うまくバランス
とって！



神経衰弱。
どれだったかな～。
よく見て記憶しな
いと！

負けても怒らなく
なったよ。

□時には野外に出かけて、多様な経験の提供、趣味活動、こどもの挑戦を応援しています。

□子どもたちで計画をたて、公共交通機関や、公共施設を利用する経験の機会を作っています。

